

2007年度（平成19年度）活動報告

I. セミナー

テーマ	講師（所属機関）	司会	期日	共催者
Intersections, Social Change, and "Engaged" Theories: Implications of American Feminism	Ann Garry (California State University, Los Angeles/ 東京大学フルブライト招聘教授)	矢口祐人	2007.5.8	アメリカ学会
A Voice of One's Own: Asians and Asian Americans in Classical Music and the Question of Authenticity	Mari Yoshihara (University of Hawai'i at Manoa)	矢口祐人	2007.5.18	アメリカ学会 基盤研究(A)「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」
Speaking for the Dead: Viet Nam, the United States, and Memorialization	Viet Thanh Nguyen (University of Southern California)	遠藤泰生	2007.6.19	アメリカ学会
戦間期の日米野球交流と民間団体の役割	清水さゆり (ミシガン州立大学歴史学部准教授)	能登路雅子	2007.7.6	アメリカ学会 基盤研究(A)「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」
Race and the Politics of Dis/comfort: the Performance of Difference at Work and on Stage	Karen Shimawaka (New York University)	矢口祐人	2007.11.28	アメリカ学会
Colonial Modernity and Print Culture Studies: Books and Readers in Australian Society	David Carter (CPASオーストラリア客員教授/ The University of Queensland)	能登路雅子	2008.1.22	東京大学大学院 総合文化研究科 地域文化研究専攻
The Digital Resources and Approaches to Using Digital History for the Study of American History and Culture	David Jaffee (Bard College)	遠藤泰生	2008.2.18	アメリカ学会 基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Many Roads to the Factory: How Provincial Craftsmen in the Antebellum Northern United States Manufactured a New Industrial Society	David Jaffee (Bard College)	遠藤泰生	2008.2.22	CPAS
Expanding the Public Sphere: The Village Enlightenment of New England, 1770-1810	David Jaffee (Bard College)	遠藤泰生	2008.2.23	初期アメリカ学会 基盤研究(A)「公共文化の胎動」
Religion in Modern America (現代アメリカと宗教)	Jon Butler (Yale University)	遠藤泰生	2008.3.11	アメリカ学会

II. シンポジウム等

- ・シーファー駐日米国大使特別講演会「シーファー大使と語ろう——政治・文化・日米関係」
 日時：2007年6月28日 14：40-16：10
 場所：東京大学駒場キャンパス I 数理科学研究科棟大講義室
 主催：東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター
 共催：東京大学教養学部附属教養教育開発機構

- ・専門家会議 Anti-Americanism: History and Structure
 日時：2007年9月29日 10：00-12：30
 場所：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1
 プログラム：
 Moderator: Jun Furuya (Professor, University of Tokyo)
 Presenters: Rob Kroes (Professor Emeritus, University of Amsterdam)
 “Anti-Americanism in its Cultural Context: The United States and
 Europe and the Cultural Ties That Bind Them”
 David Farber (Professor, Temple University)
 “What They Think of US: International Perceptions of the United
 States since 9/11”
 共催：日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（A）
 「現代アメリカ・ナショナリズムの複合的編制をめぐる学際的研究」
 日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト『『アメリカ研究』の再編』
 東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター

- ・アメリカ太平洋地域研究センター 40周年記念シンポジウム「反米：その歴史と構造」
 日時：2007年9月29日 14：00-17：30
 場所：東京大学駒場キャンパス 18号館ホール
 プログラム：
 挨拶 西中村浩（東京大学大学院総合文化研究科副研究科長）
 司会 遠藤泰生（東京大学大学院総合文化研究科教授・アメリカ地域研究）
 報告 菅原克也（東京大学大学院総合文化研究科教授・比較文学）
 「戦中と戦後を結ぶもの——知識人・文学者たちの日記から」
 村田雄二郎（東京大学大学院総合文化研究科教授・中国近現代史）
 「敵の敵は友？——中米関係百年」
 酒井啓子（東京外国語大学大学院地域文化研究科教授・中東国際政治）
 「中東における反米意識の歴史的展開」
 増田一夫（東京大学大学院総合文化研究科教授・フランス思想）
 「いかにアメリカを語らないか？——地政学のレトリック」
 コメント 西崎文子（成蹊大学法学部教授・アメリカ政治外交史）
 吉見俊哉（東京大学大学院情報学環教授・情報社会学）

閉会の辞 Rob Kroes

(アムステルダム大学名誉教授・元ヨーロッパアメリカ学会会長)

David Farber (テンプル大学教授)

主催：東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

日本学術振興会科学研究費補助金

基盤研究 (A) 「現代アメリカシヨナリズムの複合編制をめぐる学際的研究」

基盤研究 (A) 「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」

基盤研究 (A) 「公共文化の胎動」

後援：財団法人アメリカ研究振興会

III. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究 (A) 「アメリカの世界戦略と文化外交に関する学際的研究」(代表：能登路雅子)
- ・基盤研究 (A) 「現代アメリカシヨナリズムの複合編制をめぐる学際的研究」(代表：古矢旬)
- ・基盤研究 (A) 「公共文化の胎動」(代表：遠藤泰生)
- ・日本学術振興会人文・社会科学振興プロジェクト『『アメリカ研究』の再編』(代表：古矢旬)
- ・21世紀COEプログラム「共生のための国際哲学交流センター」への協力

IV. 出版活動

- ・『佐伯彰一文庫目録』(2007年3月)
 - ・『アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容』(平成15年-18年度科学研究費補助金基盤研究 (A) 研究成果報告書)(2007年3月)。
 - ・『CPAS Newsletter』Vol. 8, No. 1 (2007年9月)、No. 2 (2008年3月)
 - ・『アメリカ太平洋研究』第8巻(2008年3月)
- (すべて<http://www.cpas.c.u-tokyo.ac.jp/pub/index.html>よりダウンロードできます。)

V. センター所属教員の2007年1月から12月までの研究活動

能登路雅子

[編著]

- ・『アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容』(平成15年-18年度科学研究費補助金基盤研究 (A) 研究成果報告書)(2007年3月)。

[分担執筆]

- ・Introduction and Comments for the Symposium, "US Cultural Diplomacy in Asia: Strategy and Practice," 『アメリカ太平洋研究』第7号(2007年3月)、49頁、87-90頁。
- ・「ディズニーランドの巡礼観光：元祖テーマパークが作り出す文化」『観光文化学』(新曜社、2007年)、119-24頁。
- ・「夢の工場から戦争の工場へ：ディズニーの国策映画」『アジアにおけるアメリカ文化外

交の展開と変容』(平成15年～18年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書)
(2007年3月)、57-72頁。

〔その他の執筆〕

- ・「オーストラリア研究図書寄贈式典：オーストラリア研究の発展のために」『CPAS Newsletter』Vol. 8, No.1 (2007年9月)、7頁。

〔その他の活動〕

- ・司会 国際シンポジウム「冷戦期アジア太平洋における文化外交」セッション3「アメリカ文化外交と大衆文化・開発援助」東京大学、2007年12月8日。

木畑洋一

〔編著〕

- ・『イギリス帝国と20世紀 第5巻 現代世界とイギリス帝国』(ミネルヴァ書房、2007年)。(執筆部分「総論 現代世界とイギリス帝国の影」1-20頁、および「第9章 二つの島国帝国——イギリスと日本」321-54頁)。

〔雑誌論文〕

- ・「ディエゴガルシア——インド洋における脱植民地化と英米の覇権交代」『学術の動向』(2007年3月)、161-23頁。

〔その他執筆〕

- ・書評「君塚直隆『パクス・ブリタニカのイギリス外交』(有斐閣、2006年)」『週刊読書人』(2007年5月4日)。
- ・史料翻訳・解説「カナダにおける責任政府樹立の提案」など9項目、歴史学研究会編『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ』(岩波書店、2007年)。
- ・史料翻訳・解説「イギリス東インド会社の設立」など10項目、歴史学研究会編『世界史史料5 ヨーロッパ世界の成立と膨張』(岩波書店、2007年)。
- ・「歴史を学び、自らを省みる」『FMR』(FUJITSUユニバーシティ)235号(2007年10月)、27-38頁。

〔口頭発表〕

- ・報告「駒込武・橋本伸也編『帝国と学校』について」比較教育史研究会大会、青山学院大学、2007年5月13日。
- ・講演「ヨーロッパ統合と国際関係」横浜市立大学エクステンションセンター、2007年5月30日。
- ・講演「イギリス帝国の解体とアジア国際秩序の変容」東北学院大学オープンリサーチセンター設立記念シンポジウム、2007年12月1日。

古矢 旬

〔編著〕

- ・『権力と暴力』(シリーズ・アメリカ研究の越境 第2巻、ミネルヴァ書房、2007年)。

〔雑誌論文〕

- ・"A New Perspective on American History from the Other Side of the Pacific," *The Japanese Journal of American Studies* 18 (June 2007): 59-71.

〔分担執筆〕

- ・「アメリカニズムと暴力」『権力と暴力』（シリーズ・アメリカ研究の越境 第2巻、ミネルヴァ書房、2007年）、1頁-14頁。

〔その他の執筆〕

- ・書評「本間長世『共和国アメリカの誕生——ワシントンと建国の理念』（NTT出版、2006年）」『アメリカ太平洋研究』Vol. 7（2007年3月）、159頁-66頁。

〔その他〕

- ・インタビュー「民主党の勝利で米国は変わるか——中間選挙の結果が意味するもの」『世界』2007年1月号、179-188頁。

遠藤泰生

〔論文〕

- ・“The Cultural Geography of the Opening of Japan: The Arrival of Perry’s Squadron and the Transformation of Japanese Understanding of the Pacific Ocean during the Edo Period,” *ACTA ASIATICA*, 93, pp. 21-40, The Toho Gakkai, 2007.

〔分担執筆〕

- ・「〔反米主義（Anti-Americanism）〕の研究：反米像の断片化をめぐる考察」『グローバル化時代における「アメリカ化」と「反米主義」』（平成15年度-18年度科学研究費補助金 基盤研究（A）研究成果報告書）（2007年）、16-23頁。代表：古矢旬。
- ・「人種の原理から文明の原理へ：1909年シアトル世界博覧会をめぐる一考察」『アジアにおけるアメリカ文化外交の展開と変容』（平成15年度-18年度科学研究費補助金基盤研究（A）研究成果報告）（2007年）、46-56頁。代表：能登路雅子。

〔エッセイその他〕

- ・「日米関係のコンテクスト」『財団法人アメリカ研究振興会会報』67号（2007年2月）、3頁。
- ・「シーファー駐日米国大使CPAS特別講演会：大リーグから安全保障まで」『CPAS Newsletter』Vol. 8, No. 1（2007年）、7-8頁。

〔学会活動等〕

- ・組織委員・司会 東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター40周年記念国際公開シンポジウム『反米：その歴史と構造』東京大学、2007年9月29日。
- ・組織委員・司会 東京大学大学院地域文化研究専攻公開シンポジウム『「地域知」の探求』東京大学、2007年12月15日。

岡山 裕（1月から9月）

〔分担執筆〕

- ・「二大政党——争点志向の政治への適応」久保文明・有賀夏紀編『個人と国家のあいだ——家族・団体・運動』（シリーズ・アメリカ研究の越境 第4巻、ミネルヴァ書房、2007年）、87-110頁。

〔その他の活動〕

- 日本政治学会 2007年度年次大会企画委員
- 日本比較政治学会 2008年度年次大会企画委員
- 名古屋アメリカ研究夏期セミナー（NASSS）助言委員

宮本 文

〔雑誌論文〕

- ・“The Ambiguities of the Promethean Tradition in Percy Bysshe Shelley’s *Prometheus Unbound*” 『情報文化論』 7号 (2007年3月), 110-19頁。

〔口頭発表〕

- ・報告 日本アメリカ文学会東京支部月例会「目で聞く音楽、耳で読む言葉——Louis Zukofskyのoxymoron的詩学」、慶應義塾大学、2007年5月26日。

〔その他の執筆〕

- ・書評「スコット・A・サンデージ『「負け組」のアメリカ史——アメリカン・ドリームを支えた失敗者たち（青土社、2007年）』」 『図書新聞』 2007年4月7日。